

シンポジウム

HALL A: 室町三井ホール

ワークショップ

HALL B: 室町三井カンファレンス

9月5日(火)

9月6日(水)

9月7日(木)

9月5日(火)

9月6日(水)

シンポジウム (HALL A: 室町三井ホール)

9月5日(火)

10:00-10:05	主催者挨拶	A01
10:05-10:20	基調講演 大串正樹 デジタル庁 デジタル副大臣	A02
10:25-10:45	[単独講演] 今だから問う：コアコンピタンスと内製化 橋本航 ベイカレント・コンサルティング マネージングディレクター 概要： デジタルテクノロジーの進展により、DXブームに火がついてから約10年。DXに関する種々の取り組みは推進されている一方で、DXが経営に大きなインパクトをもたらしたケースは未だに限定的である。DXが経営インパクトに繋がらない2大要因である①DX対象領域の多角化、②DX人材不足を、「コアコンピタンス」と「内製化」というキーワードで読み解いていく。	A03
10:50-11:10	[単独講演] SMBCグループの食農分野における付加価値可視化の取り組み 三輪泰史 日本総合研究所 創発戦略センター エクスパート 三井住友フィナンシャルグループ サステナビリティ企画部 部長 概要： 食農分野における温室効果ガス排出量可視化と削減をはじめとする、農産物の内包する多様な付加価値の可視化に向けたSMBCグループの取り組みを紹介します。	A04
11:20-12:10	[パネル] 民間主導で進める豊かなデジタル社会 ～マイナカードはこうすれば国民の利器となる 千葉孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO 日下光 xID 代表取締役 CEO 高橋信行 アフラック生命保険 DX推進部 部長 モデレーター： 大林尚 日本経済新聞社 編集委員 武蔵野大学 客員教授 概要： 相次ぐひもづけミスの表面化で一気に広がったマイナカードへの不安。しかし、マイナカードの元となるマイナンバー法の理念は「個人や法人の情報管理をいっそう効率化し、国民の利便性の向上と行政運営の効率化に資すること。これを忘れて普及にブレーキをかけるようでは、新型コロナで明らかになった欧米やシンガポール、台湾、インドなどへのデジタル化の遅れが致命的なものになりかねない。無謬性の原則にとらわれがちな政府や官僚に頼りすぎず、民間主導で豊かなデジタル社会を実現するためには何が必要か、議論する。	A05
12:20-12:35	[単独講演] サステナビリティ経営は難しくない ～サステナビリティ経営×データ連携×生成AI～ 葉山誠 セゾン情報システムズ代表取締役社長 地球環境戦略研究機関 フェロー	A06

概要：サステナビリティ経営をスムーズに実現できている企業はまだ多くはありません。データ連携がうまくいけばサステナビリティ経営は決して難しくはありません。今回はサステナビリティ経営×データ連携×生成 AI の自社事例をそえてご説明します。

13:00-13:20

[単独講演] **Web3 時代の日本の新しい「価値づくり」への挑戦**

A07

～電動モビリティを活用した第一次産業の脱炭素化が地域経済を活性化する～

深尾三四郎 Mobility Open Blockchain Initiative (MOBI) 理事 伊藤忠総研 上席主任研究員

概要：Web3時代の到来により「国際通貨」となった目に見えない二酸化炭素の削減努力（脱炭素）は、地産地消の再生可能エネルギーを価値の裏付けとしており、地方においても電動モビリティの活用と循環型経済の構築を通じて新たな価値創造が実現できる。カーボンフットプリントのトレーサビリティを可視化した食・農業が、地場産業の国際的なブランド力を強化し、地方創生や地域経済の活性化を促すことができる可能性を示す。

13:30-14:20

[パネル] **これからの時代で“見える化”が重要なこれだけの理由**

A08

坂上学 法政大学 経営学部 教授

貴志優紀 サステナブル・ラボ Chief Financial Officer フィンテック協会 常務理事

大久保光伸 デジタル庁ソリューションアーキテクト
Ambient Intelligence CEO & CTO

モデレーター：

田畑紀和 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング テクノロジーコンサルティング パートナー

概要：企業や自治体に対し、脱炭素や生物多様性、人権などさまざまな分野での非財務情報開示を求める動きが広まっている。それらを可能にするのはDX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した“見える化”サービス。見えにくいものを見えるようにすることがこれからの社会や企業行動にとってどれだけ重要になっていくのか、議論する。

14:30-15:20

[パネル] **誰ひとり取り残されないデジタル社会実現に向けたマイナポータル**

A09

活用策とは by デジタル庁

今井了介 Gigi 代表取締役 Kids Future Passport 代表理事

垣内俊哉 ミライロ 代表取締役社長

横山哲也 CiPPo 代表取締役

中村亜由子 eiicon 代表取締役社長

水島壮太 デジタル庁 Chief Product Officer

モデレーター：

押雅子 デジタル庁 プロジェクトマネジャー

概要：デジタル庁が提供する子育てや介護をはじめとする様々な行政手続等に利用できるマイナポータルは、継続的な機能拡充や民間サービスとの連携により利便性向上に努めてきた。本年6月にはマイナポータルハッカソンを開催し、民間サービスとの連携についての新たな可能性も生まれている。本セッションでは、官民協働でマイナポータルを利用して国民生活をより便利にするために何ができるのか意見を交わす。

15:30-16:20

[パネル] **農林水産業とカーボンクレジットの現状と課題**

A10

大出浩睦 誠和 代表取締役

武内祥平 味の素 CFS 事業部 戦略推進グループ グループ長

続橋亮 農林水産省 大臣官房みどりの戦略 G 地球環境対策室長

モデレーター：

辻本直規 西村あさひ法律事務所 弁護士

概要：世界的にカーボンクレジットの取引市場は拡大しており、温暖化・GHG 排出等の問題が指摘される中で、農林水産分野におけるクレジット創出への期待が高まっている。農業・食品関連企業等の取り組みの現状と課題について議論する。

16:30-17:20

[パネル] 食のイノベーションが日本を救う

A11

～生産から調理まで (Farm to Table) で進む食農 DX

渡慶次道隆 ゼロボード 代表取締役

井出有希 シェアデザイン 共同代表

玄成秀 Agnavi 代表取締役

モデレーター：

深尾三四郎 Mobility Open Blockchain Initiative (MOBI) 理事 伊藤忠総研 上席主任研究員

概要：食や農業の現場でさまざまなイノベーションが起きている。脱炭素化の成果的な動きや新型コロナを機に進む消費者の行動変容などが背景だ。変革には痛みも伴うが、世界的に評価の高い日本の食・農産業にとっては千載一遇のチャンス。やり方次第では、日本経済・地方再生の起爆剤となる可能性もある。

17:30-18:20

[パネル] キャッシュレスで加速する自治体 DX の現在地

A12

～政府共通決済基盤とマイナポータル～ by デジタル庁

池田宜永 宮崎県都城市 市長

桐戸優作 日本マイクロソフト 自治体営業本部 本部長

江幡智広 KDDI 経営戦略本部 副本部長(地域共創担当)

モデレーター：

神瀬功崇 デジタル庁 省庁業務グループ プロジェクトマネージャー
COILs, LLC 代表

概要：自治体業務の DX 推進は今や喫緊の課題となっている。このような中、デジタル庁では中央省庁ならびに自治体のキャッシュレス化をサポートすることを目指し、「政府共通決済基盤」をリリースしたばかりだ。今後は利用自治体の拡大に加えて決済基盤としての機能拡充を検討しており、行政手続きの一層の効率化・高度化を強力に後押しする。本セッションでは、政府共通決済基盤の利用自治体や自治体業務の DX をリードするプレイヤーらと交え、行政事務の将来像とキャッシュレスが果たす役割について意見を交わす。

シンポジウム (HALL A: 室町三井ホール)

9月6日(水)

10:00-10:20	<p>[基調講演] 生成 AI が創る未来 A13</p> <p>村井英樹 衆議院議員 内閣総理大臣補佐官</p>
10:30-10:50	<p>[単独講演] リアルとデジタルが一体化した体験を創るアフラックの DX A14</p> <p>二見 通 アフラック生命保険 取締役専務執行役員・CTO(チーフ・トランスフォーメーション・オフィサー)・CDIO(チーフ・デジタル・インフォメーション・オフィサー)</p> <p>概要：DXの推進により、ステークホルダーへ新たな価値を提供することを目指して、日々取り組んでいるアフラック。この講演では、デジタル技術を活用した新たなユーザー体験の創出や、産学官連携による社会課題の解決など、リアルとデジタルが一体化した時代における価値創造を目指して挑戦を続けるアフラックの取り組みをご紹介します。</p>
11:00-11:20	<p>[単独講演] デジタルケミカルカンパニーへの変革 A15</p> <p>市村雄二 三菱ケミカルグループ デジタル所管 執行役シニアバイスプレジデント チーフデジタルオフィサー</p> <p>概要：事業統合や M&A を通じて成長してきた三菱ケミカルグループ株式会社 (MCG) は、2023 年 2 月に経営方針「Forging the future 未来を拓く」に基づく実行計画を更新しました。その中でデジタル戦略を再定義し、あるべき姿を“デジタルケミカルカンパニー”と決めました。そのプロセス変革やマネジメントを通じてグローバルなエクセレントカンパニーになることを目指しています。</p>
11:30-12:20	<p>[パネル] 新市場としての EV 電池サーキュラーエコノミー A16</p> <p>～カーボンニュートラルを超えて</p> <p>高梨雅之 三井住友フィナンシャルグループ グループ CSuO 兼 サステナビリティ企画部長 木通秀樹 日本総合研究所 創発戦略センター Social DX 統括ディレクター シニアスペシャリスト 村上進亮 東京大学大学院工学系研究科 教授</p> <p>モデレーター： 足達英一郎 日本総合研究所 創発戦略センター 常任理事 未来社会価値研究所長</p> <p>概要：CN 実現には移動に伴う CO2 削減が必須。しかし、EV 導入はコスト負担が大きく充電設備の導入等も伴うために依然ハードルは高く、多くの企業にとって対応はこれから。一方、この潮流の先にはサーキュラーエコノミーという新たなマーケットが立ち上がる可能性がある。事業会社はサーキュラーエコノミーにいち早く取り組むことで、CN 貢献だけでなく、新たなマーケットへの進出機会が得られる。</p>
12:25-12:40	<p>[デモステージ] InsureMO: 「保険を簡単に」 エコシステムで創出する新たなアプローチ ～ A17</p> <p>数千の API、DevOps、ノーコードでつながる顧客接点の可能性</p> <p>河上勝 InsureMO 代表取締役</p>
13:00-13:50	<p>[パネル] DX で進む日常生活に溶け込む保険サービス A18</p> <p>～生保でも埋込型が目目される理由</p> <p>二見通 アフラック生命保険取締役専務執行役員・CTO (チーフ・トランスフォーメーション・オフィサー)・CDIO(チーフ・デジタル・インフォメーション・オフィサー)</p>

青木計憲 EY Japan 金融サービス・コンサルティングリーダー/保険コンサルティングセクターリーダー EY ストラテジー・アンド・コンサルティングパートナー

河上勝 InsureMO 代表取締役

モデレーター:

関口慶太 日本経済新聞社 金融・市場ユニット フィンテックエディター

概要：最終顧客が自ら金融機関にアクセスしなくても普段利用している非金融事業者が提供するサービスから金融サービスが利用できる「エンベデッド・ファイナンス（埋込金融）」が、保険の領域にも広がってきた。日常生活で消費、体験する商品やサービスに保険を埋め込む損保型の障害保険、キャンセル保険が多いが、最近は生命保険、医療保険の分野でも埋込型が目立っている。新型コロナの影響やZ世代の登場で、顧客の行動変容が現れてきたため。こうした変化に保険業界はどう対応すべきか、議論する。

14:00-14:50

[パネル] 渋滞学から見た資源循環と行動変容

A19

西成活裕 東京大学 大学院工学系研究科 教授

所千晴 早稲田大学 理工学術院 教授 東京大学 大学院工学系研究科 教授

湯川俊一 三井不動産 ソリューション・パートナー本部 産学連携推進部 部長

概要：「渋滞学」の始祖 イグ・ノーベル賞受賞者でもある東京大学 西成教授と、サーキュラーエコノミーの権威 早稲田大学の所教授、アカデミアとの共同研究を通じて社会課題解決に挑む三井不動産 産学連携推進部 湯川部長という三者が対談。DXにより人々の行動変容を起こし「渋滞」という社会課題の解決を実現している西成先生の理論を応用し、サーキュラーエコノミーにおける行動変容について議論します。

15:00-15:50

[パネル] 新ビジネス/マーケット創出 x 規制改革へのチャレンジ

A20

岡田陽 内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局 企画官

堺美夫 三菱地所 xTECH 運営部 ユニットリーダー
東京医科歯科大学 産学連携研究センター クリエイティブマネージャー

山本浩平 デジタル証券準備 代表取締役 CEO

モデレーター:

小川恵子 EY Japan 金融サービスバンキング アンド キャピタル(銀行・証券)
マーケットリーダー/ レグテックリーダー EY ストラテジー・アンド・コンサルティング パートナー (公認会計士)

概要：新たなビジネス、マーケットの創造へのチャレンジの勢いが、いよいよ本格化している。この競争でいかに規制を味方につけて大きな改革を実現するか。
産業を超え、組織を超え、従来の既成概念を超えることができるのか。国の取り組みも味方につけて、いかに勝ち抜くか。いまチャレンジする各界のステークホルダーが、熱い思いを語る。

16:00-16:30

[対談] デジタル時代の現在において顧客体験をデザインする上で

A21

意識すべきことは何か

磯和啓雄 三井住友フィナンシャルグループ 執行役専務 グループ CDIO

西口昇吾 AVITA 創業者/取締役 COO

概要：数ある日本の金融機関の中でいち早く SMBC ダイレクトアプリなどのサービスを作り、多くのデジタルサービスの UI/UX にこだわりを持ってきた SMBC グループ。
アバター技術活用による実世界の仮想化、多重化を追求し、人々を生身の制約から解放することを目指してきた AVITA。優れた UI/UX で業界をリードする両社が「デジタル時代の現在において顧客体験をデザインする上で意識すべきことは何か」について対談する。

16:40-17:30

[パネル] リアルビジネスを活かす

A22

テクノロジーを意識しないデータ利活用の進め方

松橋正明 セブン銀行 代表取締役社長
 森永和也 スギ薬局 取締役 兼 DX戦略本部 本部長 兼 社長室 室長
 石田誠司 セゾン情報システムズ 取締役 兼 常務執行役員
 小川恵子 EY Japan 金融サービス バンキング アンド キャピタル(銀行・証券)
 マーケットリーダー／ レグテックリーダー
 EYストラテジー・アンド・コンサルティング パートナー (公認会計士)

モデレーター：

鈴木亮 日本経済新聞社 編集局 編集委員

概要： データの利活用には、マルチクラウド、データ連携基盤、生成 AI といったテクノロジーが使われることが多いが、それはあくまで裏方の話。もっとも大切なのは、データ利活用をどれだけリアルビジネスに活かせるかどうか。その実現ために必要なことは何か。データ利活用の先進プレーヤーに要諦を語ってもらう。

17:40-18:30

[パネル]生成 AI 編：AI 新領域「ChatGPT」が開く DX の扉！

A23

～金融版生成 AI のユースケースと勘所～ by デジタル庁

柳瀬護 金融庁 総合政策局 審議官 (フィンテック・マネロン・IT サイバー担当)

松橋正明 セブン銀行 代表取締役社長

原田秀美 東京海上日動火災保険 デジタルイノベーション部 部長

田中聡 三井住友信託銀行 デジタル企画部 主任調査役 TrustBase CEO

モデレーター：

岡田拓郎 金融データ活用推進協会 代表理事/デジタル庁プロジェクトマネージャー

概要：生成 AI の進化が著しい。米 OpenAI が 2022 年末に公開した「ChatGPT」はわずか数ヶ月で 1 億人が利用し、その精度に衝撃が走った。AI はシンギュラリティを迎えたのか。また、金融業界が横断で「金融版生成 AI ガイドライン」を策定することを金融データ活用推進協会が公表。本セッションでは、「ChatGPT」によって創出される金融新サービスの可能性について触れつつ、業界横断の取組み内容を提言する。

シンポジウム (HALL A: 室町三井ホール)

9月7日(木)

10:00-10:20	<p>[基調講演] フューチャー・デザイン ～私たちの存続可能性を目指して A24</p> <p>西條辰義 京都先端科学大学国際学術研究院 特任教授 フューチャー・デザイン理事長</p>
10:30-11:20	<p>[パネル] DX ver.2、その構想と挑戦 A25</p> <p>椎名秀樹 ENEOS ホールディングス 取締役副社長執行役員 CDO 本山智之 三井住友海上火災保険 常務執行役員 MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス 執行役員 グループ CDO 則武讓二 ベイカレント・コンサルティング常務執行役員 CDO</p> <p>概要：日本企業における DX は、次の段階に入り始めている。多くの企業で初期に掲げた DX 戦略が一定の進捗を見せる一方、これまでのアプローチに限界を感じている企業も多いのではないだろうか。そんな中、先進企業は、DX ver.2 とも言える次の段階に向け、動き始めている。本セッションでは、DX の次の段階に挑むリーディングカンパニー2 社をお迎えし、その構想と挑戦を掘り下げる。そこから、産業問わず DX ver.2 を推進するうえでの気づきを抽出したい。</p>
11:30-12:20	<p>[パネル] ”非連続”の輪が生み出す二刀流の世界 A26</p> <p>北澤直 Eight Roads Ventures Japan パートナー 深尾三四郎 Mobility Open Blockchain Initiative (MOBI) 理事 伊藤忠総研 上席主任研究員 楠正憲 デジタル庁 デジタル社会共通機能グループ グループ長 牛田遼介 金融庁総合政策局 チーフ・フィンテック・オフィサー モデレーター： 山田康昭 GiveFirst 代表取締役 CEO/超 DX サミット統括責任者</p> <p>概要：日本の経済や社会は、少子高齢化、気候変動、脱炭素といったさまざまな課題を前になすすべなく立ちすくんでいるように見える。こんなときこそ、目の前の課題のから少し目をそらし、創造的な思考と想像力を活用した”非連続”の発想に身を委ねてみてはどうだろうか。多くの人たちが生み出す”非連続”の輪が、難課題を解決に導き、リアルとデジタルを一体化する豊かな二刀流の世界を築くのかもしれない。</p>
12:25-12:40	<p>[デモステージ] xID:金融機関の課題解決にマイナンバーカードをどう活用すべきか A27 ～デジタル ID 最前線の活用事例に学ぶ～</p> <p>日下光 xID 代表取締役 CEO</p> <p>CPA エクセレントパートナーズ： 学びとキャリアの好循環から会計人材不足を解消する「CPA ジョブズ」のご紹介</p> <p>飯塚祐司 CPA エクセレントパートナーズ 取締役</p>
13:00-13:50	<p>[パネル] 超 DX 時代における長期経営ビジョンの構築と市場との対話 A28</p> <p>市村雄二 三菱ケミカルグループ デジタル所管 執行役シニアバイスプレジデント チーフデジタルオフィサー 谷崎勝教 日本総合研究所 代表取締役社長 兼 最高執行役員 藤沢久美 国際社会経済研究所理事長 中空麻奈 BNP パリバ証券グローバルマーケット統括本部副会長</p>

モデレーター：

三輪純平 国立リベラルアーツ 代表取締役 東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 非常勤講師

概要：気候変動や生物多様性、人権などのサステナビリティ課題の多様化、ルール環境の変化など複雑化する超DX時代の事業環境の中で、企業は社会の持続可能性と両立する長期的な価値提供が大きな経営課題となっている。その実現のためには、投資家や消費者を巻き込んだ強靱な価値創造ストーリーを作り上げる必要がある。日本企業はどうすればこの課題をクリアできるのか、徹底的に議論する。

14:00-14:50

[パネル] 養殖漁業のスケール化に向けた挑戦 ～食料安全保障への貢献目指す日

A29

本の企業と技術

鈴木宏和 北三陸ファクトリー / KSF オーストラリア CFO

藤原謙 ウミトロン 代表取締役

石川裕章 JR西日本イノベーションズ 陸上養殖(PROFISH) プロデューサー

モデレーター：

杉山泰成 西村あさひ法律事務所 パートナー

概要：日本発の養殖を産業として確立するためには、技術/マネジメントの確立とビジネス・資金調達スキームの整備が不可欠。日本の陸上・海面養殖のトップランナーが集い、今後の成長戦略について議論する。

15:00-16:20

インパクトピッチファイナル

A30

アークエルテクノロジーズ AC Biode

アクプランタ EnergyColoring

Gaia Vision Greenphard Energy

OPTMASS Planet Savers

杉のチカラ ユナイテッドシルク

審査員：

各務茂夫 東京大学 大学院工学系研究科 教授 産学協創推進本部 副本部長

松下克俊 SMBC ベンチャーキャピタル 執行役員

河合将文 ジェネシア・ベンチャーズ パートナー 兼 チーフ・サステナビリティ・オフィサー

柴山重久 日本経済新聞社 編集 総合解説センター シニア・プロデューサー

16:30-17:00

[Super DX Cuisine AWARD スペシャルパネル]

A31

いま、なぜ地方のレストランが注目されるのか。～超DX料理賞が示す豊かな未来

柏原 光太郎 食の熱中小学校 校長 ガストロノミープロデューサー 日本ガストロノミー協会会長

マッキー牧元 味の手帖 取締役編集顧問 兼 タバアルキスト

長坂紅翠香 フードジャポン代表 著者・フードライター

小浦場祥夫 さっぽろキズケア・アンチエイジング研究所所長 日本ガストロノミー協会理事

モデレーター：

石鍋仁美 日本経済新聞社 編集・総合解説センター 編集委員兼論説委員

概要：日本全国の地方で、地元の食材を使い、環境や社会に配慮した持続可能で発展性のある小さなレストランが増えつつある。担い手の多くは、ミシュランガイドに載るようなお店で力をつけた若いシェフたち。これらの小さなお店が、地元の農家や漁師に大きな刺激を与え、宿泊施設や商業施設の新設につながるなど、地方創生の起爆剤になる可能性も秘めている。Super DX Cuisine AWARD は、こうしたレストランやシェフらに賞を授与し、「食」を核にしたサステナブルな成長をともに目指す。

17:00-17:50	Super DX Cuisine AWARD 受賞者発表 & 表彰式 概要：日本各地の生産者が丹精込めて作った食材を様々な創意工夫で美味しい料理にして届け、環境と社会に配慮しながら持続可能かつ発展的な変革を志向する美食店（Sustainable & Developmental Gastronomy =SDG）を、「地域融合エコシステム賞」「革新ビジネス賞（持続可能な海の幸グルメ賞）」など10のカテゴリーで表彰します。	A32
18:00-18:20	インパクトピッチ表彰式	A33

セッション情報は [2023/09/04](#) 現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

日経 SUM 事務局

ワークショップ (HALL B:室町三井カンファレンス)

9月5日 (火)

10:00-10:45	<p>3メガが語る「生成AIをブームで終わらせない」AI・データ活用が定着する金融組織の在り方とは powered by デジタル庁</p> <p>藤咲雄司 三菱UFJフィナンシャルグループ 経営企画部 経営基盤改革室 次長 新田孝明 みずほフィナンシャルグループ デジタル企画部 次長 長尾卓司 三井住友フィナンシャルグループ データマネジメント部 データ活用グループ長</p> <p>モデレーター： 佐藤市雄 SBIホールディングス 社長室ビッグデータ担当、生成AI室 部長、生成AI室長 金融データ活用推進協会 理事・企画出版委員長</p> <p>概要： 3メガバンクはじめ多くの金融機関で生成AI、Chatgptの全社利用が始まった。生成AIは金融業務を大きく変革していく可能性を秘めている一方で、生成AIが一過性のブームとして終わることなく金融ビジネスに適合し、金融サービスそのものをアップデートしていけるかが生成AI活用の鍵となる。そのためには、AI・データ活用する組織にチェンジできるかが重要となる中、金融データ活用推進協会では、3メガバンク含む27社のノウハウを結集し「金融データ組織チェックシート」を公表。本セッションでは、生成AIの金融ユースケースに触れつつ、AI・データ活用が定着する金融組織の在り方について実務目線で深掘りしていく。</p>	B01
11:40-12:10	<p>アグリフードテックの法務最前線 —新技術・新食品の法的課題—</p> <p>powered by 西村あさひ法律事務所</p> <p>菊地隆志 西村あさひ法律事務所 弁護士 金子祥悟 西村あさひ法律事務所 弁護士</p> <p>モデレーター： 河野匠範 西村あさひ法律事務所 弁護士</p> <p>概要： ここ数年、日本においても、食料問題等の社会課題を解決するため、精密発酵やゲノム編集技術などの新しい技術や、培養肉やプラントベースフードなどの新しい食品が着目されている。本ワークショップでは、法規制についての基本的な視座を踏まえて、培養肉やプラントベースフード等の事例から、新技術・新食品を今後生み出していくにあたり着目することが望ましいポイントを議論する。</p>	B02
13:00-13:45	<p>DXのバラバラを、スルスルに サステナビリティ経営とデータ連携</p> <p>手間と迷惑をかけないデータ収集と分析のノウハウ</p> <p>powered by セゾン情報システムズ</p> <p>石田誠司 セゾン情報システムズ 取締役 兼 常務執行役員</p> <p>概要： サステナビリティ経営に向けたKPI設定・データ収集・分析において、「データが散在しており収集が困難」「データの加工・準備に時間がかかる」「データを現場に依頼すると迷惑がられる」との声が多く聞こえてきます。サステナビリティ経営には散在するデータを使えるデータへ整理整頓する「データ連携」がポイントです。データ連携によりデータ収集・分析のサイクルを早める方策を、自社事例も交えて紹介します。</p>	B03
14:00-14:30	<p>カーボンニュートラルのためのマインドニュートラル</p>	B04

～佐賀の農工連携事例を通じて～powered by 誠和

前田修二 佐賀市役所 バイオマス産業推進課 藻類産業推進室長

モデレーター:

大出浩睦 誠和 代表取締役

概要: 社会はカーボンニュートラルを求めているが、本当に行動ができているのか? 佐賀の資源循環型施設園芸に関心を示す事業者は多いが行動に移せていないのはなぜか? カーボンニュートラルに関する情報があふれている今だからこそ考えるべき環境への取組、事業者のあり方。自分事として考えるためにマインドシフトを起こしていく先進的であり本質的なセッション。

15:20-15:50

マイナンバーカード、今後の民間分野での活用ヒントを

B05

全国 400 自治体の先進事例から学ぶ powered by xID

日下光 xID 代表取締役 CEO

概要: 民間分野に先行して、マイナンバーカード活用が進む地方自治体。昨年度、400 億円の財政規模で行われたデジタル田園都市国家構想交付金事業でも、マイナンバーカードを活用した多くの取り組みが採択されました。今後、銀行などの金融サービス、保険会社、交通など幅広い民間分野での活用が注目されるマイナンバーカードの活用のヒントを、xID が取り組んでいる全国 400 以上の自治体ケーススタディとともにご紹介します。

16:00-16:30

保険エコシステムや組込型保険への挑戦 デロイトトーマツ vs InsureMO

B06

powered by InsureMO

河上勝 InsureMO 代表取締役

福島渉 デロイトトーマツコンサルティング 執行役員 保険インダストリーリーダー

モデレーター:

原田佳子 フリーアナウンサー

概要: 多くの保険会社をクライアントに持つデロイトトーマツと InsureMO が本音で討論。エコシステムや組込型保険への不安や懸念を解決してきたデロイトトーマツの保険インダストリーリーダーの福島氏と国内外でエコシステムを提供してきたインシュアテック大手の InsureMO 代表の河上氏が今ここに在る課題とその打ち手を赤裸々に語り合う。巨大保険エコシステムを構築するための最適なデザインとは? そしてそのソリューションは何か? 『勝てる保険の売り方』がここで語られます。

16:40-17:40

インシュアランス 5.0 のシナリオと保険業界の潮流

B07

保険業界におけるデジタルトランスフォーメーションの最前線 powered by EY

木下大輔 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス テクノロジーコンサルティング シニアマネージャー

久野芳之 JMDC インシュアランス本部 執行役員

中島力弥 Agent Tech Consulting 代表取締役社長

坂本要 アドバンテッジリスクマネジメント 執行役員

モデレーター:

青木計憲 EY Japan 金融サービス・コンサルティングリーダー/保険コンサルティングセクターリーダー
EY ストラテジー・アンド・コンサルティングパートナー

概要: COVID19 後の時代を迎え、テクノロジーの進化、顧客の価値観と金融商品に対するニーズの大きな変容といった環境が変わりつつある中、保険会社は変革を求められています。本ワークショップでは、JMDC の久野芳之氏、Agent Tech Consulting の中島力弥氏、アドバンテッジリスクマネジメント社の坂本要氏をお迎えして、保険業界を取り巻く潮流、健康・医療などのデータ利活用、組み込み保険を活用した異業種との連携など、保険業界の DX 最前線を議論します。

シンポジウム

HALL A: 室町三井ホール

ワークショップ

HALL B: 室町三井カンファレンス

[9月5日 \(火\)](#)

[9月6日 \(水\)](#)

[9月7日 \(木\)](#)

[9月5日 \(火\)](#)

[9月6日 \(水\)](#)

ワークショップ (HALL B:室町三井カンファレンス)

9月6日 (水)

10:00-11:00	デジタル ID 時代の到来！マイナンバーカード活用で進む公共と民間の DX B8 powered by TRUSTDOCK 千葉孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO 石塚雅敏 三井住友カード Transit 事業推進部 部長 高田昌幸 QUADRAC 代表取締役社長 概要：マイナンバーカードの普及が広がり、いよいよデジタル ID 時代の到来してきています。政府はマイナンバーカードを、確実・安全な本人確認・本人認証ができる「デジタル社会のパスポート」としており、公共だけではなく民間での活用にも活用が進むと予想されます。今回は、デジタル社会のインフラとなる本人確認がどのような DX を起こすのか、ユースケースを交えてお話しさせていただきます。
11:10-11:40	農業におけるデータ・AI の可能性 ～技術可視化とデータサプライチェーン～ B9 powered by 誠和 安原貴彦 みずほ第一フィナンシャルテクノロジー 代表取締役社長 モデレーター： 大出浩睦 誠和 代表取締役 概要：施設園芸で活躍する株式会社誠和と、金融工学を武器にするみずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社による、農業におけるデータ・AI 活用の可能性についての対話。従来は勘と経験によって培われてきた農業技術にデータ・AI が掛け合わさることによって、どのような農業の未来があるのか、そして食品産業の未来にどのように影響するのか、これからのスマート農業を考えるセッション。
11:50-12:20	ChatGPT があぶり出した DX の取り組みの現在地 B10 powered by セゾン情報システムズ 有馬三郎 セゾン情報システムズ 執行役員 CTO 概要：ChatGPT は企業の DX の状態をあぶり出し始めた。 DX は使うツールを変えるのではなく、ツールを使う側の変化がより重要である。マネジメントが継続的な目的の設定と浸透を行い、それをビジネス・IT が素早く試し、失敗も含めて前に進むことが求められている。それにはデータがますます重要になってくる。 生成 AI でより加速する DX に対して、しなやかなデータ連携・組織のあり方をノーコードの観点から説明する。
13:00-13:30	農業と水産業のサステナビリティ法務 powered by 西村あさひ法律事務所 B11 杉山泰成 西村あさひ法律事務所 パートナー 勝又惇哉 西村あさひ法律事務所 弁護士 鈴木健也 西村あさひ法律事務所 弁護士 概要：本セッションでは、農業と水産業のサステナビリティに関連する実務の法務をテーマとさせていただきます。農業分野では、農業と再生可能エネルギー事業とで太陽光を分け合う取り組みであるソーラーシェアリングについて実際にビジネスをするにあたっての留意点を主なテーマとします。また、水産分野では、グリーンカーボンと並ん

でその需要に注目が集まっているブルーカーボンを活用した取り組みにおける留意点を主なテーマとします。

13:40-14:10

会計人材の育成とキャリア支援を通じて、会計人材が活躍できる場を創り出す powered by CPA エクセレントパートナーズ

B12

飯塚祐司 CPA エクセレントパートナーズ 取締役

中園隼人 CPA キャリアサポート 代表取締役

概要：公認会計士資格スクール「CPA 会計学院」、会計・経理などの実務や簿記などを完全無料で学べるプラットフォーム「CPA ラーニング」を通じて、企業の成長促進する会計人材を輩出しています。会計人材として学び続ける個人と会計人材不足という企業の課題感を踏まえて、「CPA ジョブズ」「CPASS キャリア」で企業の課題解決を促進します。

セッション情報は 2023/09/04 現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

日経 SUM 事務局